

12. ストック

・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	トップジンM水和剤	散布	－	5回以内	花き類・観葉植物（トルコギキョウを除く）

・殺虫剤

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	オンコル粒剤 5	全面土壌混和	定植時	1回	
1	ガゼット粒剤	全面土壌混和	定植時	1回	
11	トアロー水和剤 C T	散布	発生初期	－	

・殺虫剤（参考農薬）

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
6	アフーム乳剤	散布	発生初期	5回以内	
1	オルトラン水和剤	散布	発生初期	5回以内	
13	コテツフロアブル	散布	発生初期	2回以内	
11	ゼンターリ顆粒水和剤	散布	発生初期	－	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

注4) 蚕毒・魚毒については、「24. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
菌 核 病 灰色かび病 (F)	生 育 期 間	1. 施設内が過湿にならないよう密植を避け、換気を図る。 2. 株元の枯死葉は伝染源になるので除去する。 3. 発病を見たら、直ちに罹病部を除去し、薬剤を散布する。 4. 菌核病に対しては、トップジンM水和剤 1,500 倍液を散布する。	1. 薬剤耐性菌の出現を避けるため、同一系統の薬剤を連用しない。
コ ナ ガ	定 植 期	1. オンコル粒剤 5 を 10a に 9 kg、又はガゼット粒剤を 10a に 18kg 全面土壌混和する。	1. アフーム、ゼンターリは蚕毒に特に注意する（特別指導事項参照）。
	生 育 期 間	1. トアロー水和剤 C T 1,000 倍液を散布する。 [参考農薬] 1. オルトラン水和剤、ゼンターリ顆粒水和剤の 1,000 倍液、アフーム乳剤 1,000～2,000 倍液、コテツフロアブル 2,000 倍液のいずれかを散布する。	